

2050 信州ゼロカーボンチャレンジ!

2023 年度実施結果

これは、家庭でできる地球温暖化防止を行うとともに、2050 年のゼロカーボンに向けて今からどんなことができるか、という課題に子どもたちがチャレンジするプログラムです。県内の小中学校から参加を募り、子どもたちに冊子を配布して、夏休みを中心に学校や家庭で挑戦してもらっています。

2023 年度は、昨年に引き続き「ながの海ごみゼロプロジェクト」のご協力をいただき、冊子『上流県「ながの」から海をキレイに』を併せて配布しました。



参加数

学校 20 校 (小学校 13 校、中学校 7 校)、個人 4 名、計 1,864 名の児童・生徒にご参加いただきました。

チャレンジの結果

●チャレンジ 1 やってみよう! お家で地球温暖化防止

チェックリストにある「好き嫌いせずに残さず食べる」「ゲームはやる時間を決めて、約束した時間でやめる」など 24 項目から 5 項目選んで 7 日間チャレンジしてもらいました。このチャレンジでは、できた数を記入してもらいますが、最大 35 点 (5 項目×7 日) のところ、全参加者の平均は 31 点と、前年度を 2 ポイント上回りました。

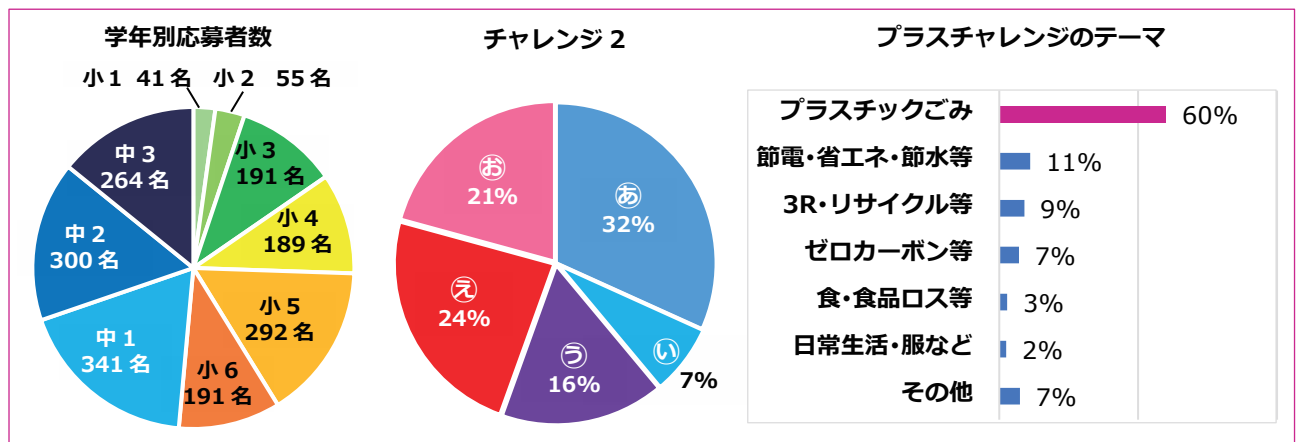
●チャレンジ 2 調べてみよう! 2050 ゼロカーボンへの道

次の㊸~㊼から 2 つ選び、「ワークシート」に記入しながらチャレンジしてもらいました。一番多く選ばれたのは㊸で、次いで㊹㊺が多く選ばれました。

- ㊸ パンフレット『信州ゼロカーボン BOOK(小・中学生)』を読んで、地球温暖化についてくわしくなろう
- ㊹ 「信州屋根ソーラーポテンシャルマップ」で、お家の屋根でどのくらい太陽光発電できるか調べよう
- ㊺ 信州産の野菜・果物を食べて、「おいしい信州ふーど de ビンゴ」に挑戦しよう
- ㊻ 付録のかるたで遊んで「環境マーク探検」をしよう
- ㊼ パンフレット『上流県「ながの」から海をキレイに』を読んでプラスチックごみをへらそう

プラスチャレンジ

「プラスチックごみ」のほか、自分で選んだテーマで、やってみたいことやこうしたらよいと思うアイデアなどを書いてもらう「プラスチャレンジ」には 566 名に応募いただきました。



学校応募

参加していただいた学校のうち、全児童・生徒数に対する応募数の率が高い学校について「優秀協力校」として小学校 5 校・中学校 1 校、「準優秀協力校」として小学校 2 校・中学校 2 校、また、「特別協力校」として小学校 1 校、中学校 4 校を選定し、環境教育にご活用いただく教材費を贈呈しました。

結果・冊子 (ワークシート) など、くわしくは
県センターHPへ



本音が見える?! 応募シートの感想欄より(抜粋) チャレンジに参加した児童・生徒のコメント



—— チャレンジ1 やってみよう! お家で地球温暖化防止 ——

ひつようなばしょいがいの
でんきをけすことが、じょう
ずにできるようになり、ほめ
られてうれしかった。[小1]

あそびにいくとき、くるま
をつかわないであるいて
いく。うんどうにもなる
し、たのしいから。[小3]

日常生活にあるム
ダをなくすいい機
会。これからも継
続したい。[中1]

「夏場は電気代がすごく高くな
る」と親から聞いたので、全力で
チャレンジして、家族も協力し
て、とても楽しかった。[中3]

—— チャレンジ2 調べてみよう! ゼロカーボンへの道 ——

㊦ パンフレット『信州ゼロカーボン BOOK(小・中学生)』を読んで地球温暖化についてくわしくなる

ちきゅうがとても
あつくなってきた
いることに不安を
感じました。[小3]

温しつこうかガスをちょうど
いいようにしていくために
は、たくさんの人の協力が必
要なんだとかんじた。[小5]

今、自分がなにをやれ
ばいいのかも解った
し、地球の現状が解つ
て良かった。[小6]

今まで温室効果ガスを減らす緩
和策しか知らなかったので、適
応策で温暖化に備えることも大
切だとわかりました。[中3]

100年後の天気予報がとても衝撃的だった。[中1]

無意識に温暖化に影響することをしていたなーと反省。[中3]

㊧ 「信州屋根ソーラーポテンシャルマップ」で、お家の屋根でどのくらい太陽光発電できるか調べよう

家としゃごに太よう
こうはつでんがつけ
られていた。[小3]

太陽光発電付きのモバイルバッテリーで晴れの日に試
してみました。8時間ほどで充電 MAX に。普通に充
電した方が早いけど、少しは節約できたかな。[中3]

ソーラーパネルは、製造コストの
削減と、廃棄に問題がなくなれば、
普及が進むのではないかな。[中3]

㊨ 信州産の野菜・果物を食べて、「おいしい信州ふーど de ビンゴ」に挑戦しよう

地さん地しょうをいしきて、学校
のきゅうしょくがつくられている
ときいて、おどろきました。[小3]

しんしゅうさん(信州産)だけでは
なく、白馬さん(産)や、じいじが
作ったやさいを食べた。[小4]

夏野菜を食べると、美味しいし、体も冷
やせて、一石二鳥だなと思いました。こ
れからも夏野菜などをしっかりととり、
熱中症に注意していきたいです。[中3]

長野は「食材のほう(宝)庫」だとおもいました。[小5]

㊩ 付録のかるたで遊んで「環境マーク探検」をしよう

ティッシュばこには3こもマ
ークがついてました。[小1]

楽しみながらとりくめるかるたなので、町や
地区でやったらもりあがると思います。[小3]

カルタで、どんな環境問題が
あるのかもわかった。[中3]

買い物に行ったときは、環境マークを見つけたり、環境にやさしい商品を買えるようにしたい。[中1]

㊪ パンフレット『上流県「ながの」から海をキレイに』を読んでプラスチックごみをへらそう

海にゴミを捨てる
と自分に帰って来るこ
とが分かった。[小5]

夏休みにゴミ拾いのけんきゅう
をしました。海はゴミが多くて
BBQのゴミもありました。これ
からもゴミ拾いをしたい。[小5]

普段コンビニなどで、無料だからという理由で、プラ
スチックのスプーンやフォークをつけてもらっちゃ
ってるけど、プラスチックは何百年も分解されず残
っていると知り、とんでも驚きました! [中3]

—— プラスチャレンジ テーマ「プラスチックごみ」より ——

地区でプラスチックごみを集
め、地区限定のワークショップなどをす
れば、仲良くなれるしプラステ
ックごみも減ります。[中1]

食べられる海藻の膜を使って飲み
物を入れるものが、海外のマラソン
大会で使われました。日本にも取り
入れればいいと思います。[中2]

プラスチックという言葉には「プラ
ス」という言葉が入っている。世界
にとってプラスチックがプラスにな
るものになってほしい。[中3]

—— チャレンジ全体の感想 ——



CO₂をへらしたり、地球にやさしいこ
とをして、これからの地球を守って
いきたいと心から思いました。[小3]

普段の生活から SDGs を意識しない
と未来がどんどんヤバくなる。[中1]

学んだことは、これからの人生にも
生かしていきたい!!!! [中1]

普段はめんどくさく、難しく感じて
いたSDGsの学習が、楽しく気軽に学
べるとは思っていませんでした。[中3]



🌐 温暖化防止活動推進センター通信 🌐

ゼロカーボン CMコンテスト2023 結果発表

信州環境カレッジ事業で「ゼロカーボンに向けて新しいライフスタイルを始めよう」をテーマに30秒CMを募集(2023/9/1~10/31)したところ、26点の応募がありました。2023年12月27日(土)に審査会を開いて以下のとおり入賞作品を決定し、2024年2月3日(土)に「くらしふと信州」(長野市)にて表彰式を行いました。

最優秀作品は3月まで abn 長野朝日放送で放映されるほか、入賞作品は長野県庁等で放映します。

🏆 最優秀賞 [画像右]

【100年後の長野県】 南箕輪小学校 4年3組の皆さん

🏆 優秀賞

【できることはすぐそばに】 そしな 様

🏆 特別賞

【めざせ!ゼロカーボン!】 稲荷山養護学校高等部総合2年2組の皆さん

【それくらい、歩こう】 風間勇一郎 様

【身近な失態、まだ続けますか?】 清水萌香 様

【未来のために知ろう!取り組もう!】 戸枝瑞希 様



*詳しくは信州環境カレッジのホームページで →→→



研修会レポート

事業活動における脱炭素化に向けた研修会 2023/12/19(土)

@JA アクティーホール (長野市) & オンライン



県・県センター・市センターの共催によりハイブリッドで実施し、110を超える県内事業者の皆様にご参加いただきました。

基調講演「太陽光発電と電気自動車の組み合わせ方」(国立研究開発法人産業技術総合研究所 櫻井啓一郎氏)からスタートし、「水素の利活用に関する取組について」(特定非営利活動法人 Hydrogen to x 重政海都氏)、「事業活動における省エネ・再エネ手法について」(一般財団法人省エネルギーセンター 鈴木伸隆氏)、「長野県内事業者の取組事例発表—新光電気における気候変動への取組—」(新光電気工業株式会社 岡本盛雄氏)という盛りだくさん且つバラエティーに富んだ内容で、事業者のニーズを幅広く捉えた研修会を開催することができました。

講義後のアンケートでは、「非常に有意義な時間であった」「県内企業の取組を知ることができて、とても参考になった」とのお声をいただく一方、「講師の方との懇談の場があると、より情報交換等が進むのでは」「12月は忙しいので他の月に開催してほしい」といったご意見もいただきました。今後の企画に活かして参ります。

**令和5年度
「マイカー移動からの転換等促進事業」
を長野県から受託しました!**

マイカーから排出されるCO₂を減らす取組「信州スマートムーブ」(通称「シン・スマートムーブ」略称「シンスマ」)の普及を進めています。

詳しくは特設サイトで →→→

*ラジオ CM 音源

*ポスターダウンロード

*県内企業へのインタビュー記事等

